

MIZUKI

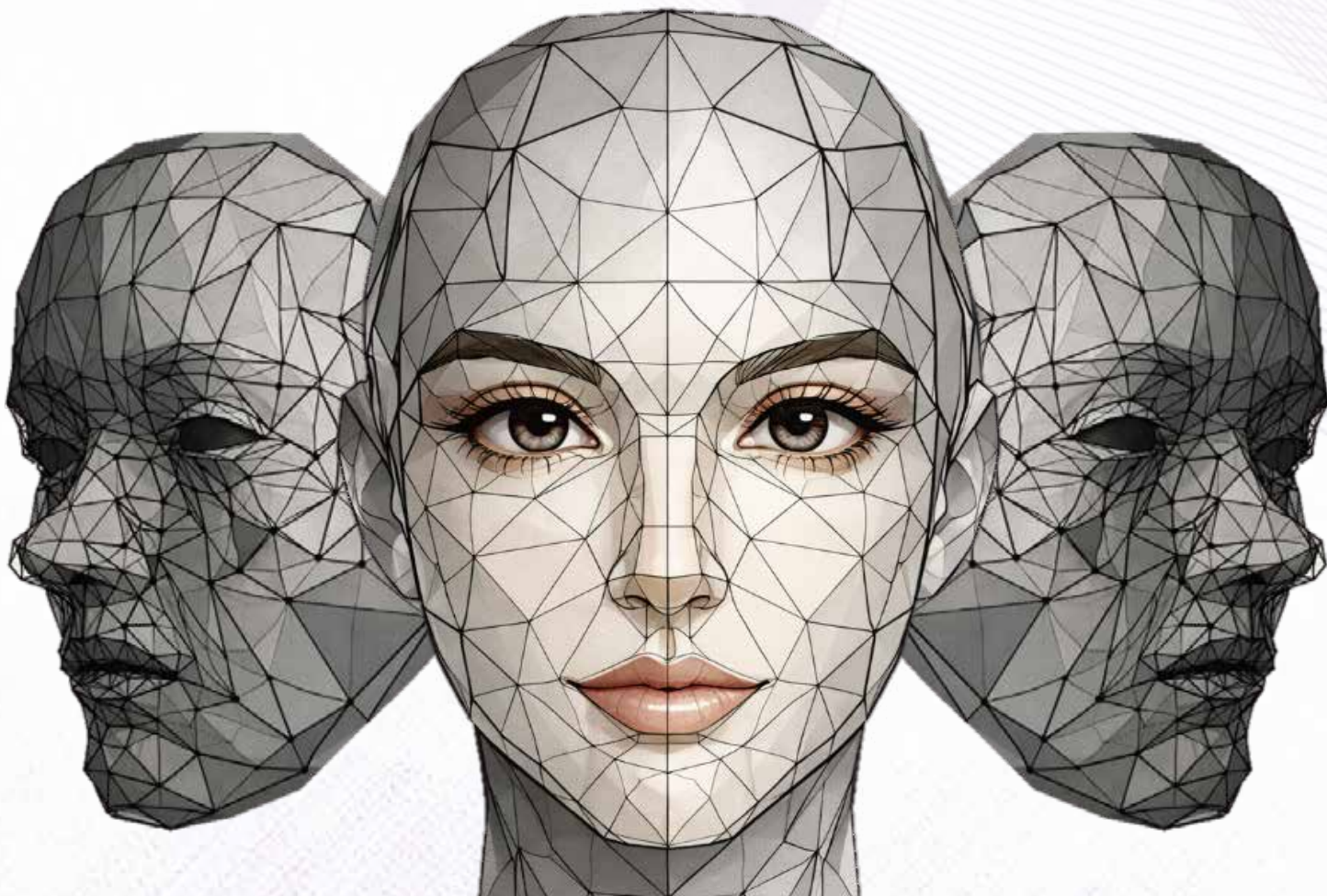
広域医療連携センター 医療連携室 医療機関向け広報誌「みずき」

「病院の理念」社会のニーズに応える安全で質の高い医療を皆様に提供するとともに良識ある人間性豊かな医療人を育成します

顎顔面治療地域連携プロジェクト
「FACE-Link Network」

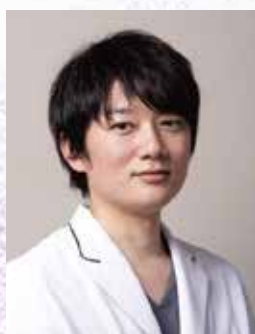
第一弾

顔面変形外来



形成外科
科長 塗 隆志

- ・日本形成外科学会指導医
- ・日本頭蓋顎顔面外科学会専門医
- ・2016年Chang Gung Memorial Hospital Craniofacial Unit Visiting Fellow



形成外科
浅香 明紀

- ・日本形成外科学会指導医
- ・頭蓋学顔面外科学会 顔面変形(骨切り手術)ガイドライン委員
- ・2023年Chang Gung Memorial Hospital Craniofacial Unit Visiting Fellow

代表的な顔面変形

※ 下記以外の症例についても、「顔の変形」に関するご相談であれば柔軟に対応いたします。

顔面骨骨折術後の変形

外傷により顔面の左右差や陥凹・突出などの形態異常が残存している状態



頬骨の変形の残存

治療

複雑な変形に対して、傷跡が目立たない切開で骨切りを行い、修復後プレート固定を行います。



大阪医科薬科薬科大学形成外科で独自に開発した顔面骨測定器を用いて精密な骨の再建を行っています。

鼻の変形

鼻骨や軟骨のゆがみにより、見た目の非対称と呼吸機能障害が生じている状態



治療

前弯を伴う鼻中隔弯曲、鼻骨や鼻軟骨の変形を伴う斜鼻や鼻閉患者に対して、鼻骨骨切りや open approach による軟骨移植などの治療を行っています。



顎の変形

上下のあごの骨のバランスがずれているために、かみ合わせや顔立ちに問題が生じている状態

治療

矯正歯科医の先生の咬合計画に準拠しながら、当科ではシミュレーションソフトを用いて顔面骨格全体を総合的に解析し、機能面と整容面の双方に配慮した安定性の高い顎矯正手術を実施しております。

(必要に応じて Zoom 等を用いた会議を行うことも可能です。)

Class II: 上顎前突変形



Class III: 下顎前突変形



形成外科に顔貌の改善を主訴に受診された顎変形症や唇裂術後の患者さんの矯正治療を担当いただける施設も募集しています。ご興味のある方は、形成外科学教室までお問合せください。

紹介元の先生方へ

- 診断未確定の段階でも紹介可能です。
- 「評価のみ」「意見を聞きたい」紹介も歓迎します。
- 治療方針決定後は、診療情報提供書にて詳細なフィードバックを行います。
- 紹介元の主治医は、引き続き紹介元の先生が担当していただけます。
- 手術を含む場合も事前に十分な情報共有を行います。

[医療連携室ご利用のご案内]

WEB紹介予約申込

紹介元の医療機関より基本情報を入力の上、患者さんに紹介状をお渡しいただき、紹介状は申込日当日中にFAX送信いただくだけで、手続きは完了します。日程調整は患者さんと本院で行います。

※WEBだけでなくFAXからの紹介予約申込も可能です。

24時間
365日
申込可!



詳細は▶

広域医療連携センター 医療連携室

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7
平日/8:30~19:00 土曜日/8:30~12:40(第2・第4土曜日休診)

TEL.072-683-1221 (代表)内線2308

TEL.072-684-6338

FAX.072-684-6339 (医療連携室直通)